

民主主義の神髄を、学年だよりに見た！

令和6年度もまとめの時期になり、来年度の計画づくりが進んでいます。

校長は1年間の成果と残された課題、子どもたちの実態などを基にして、令和7年度の学校教育の**グランドデザイン**というものを考えているのですが、今年度は児童会活動がとても活発にできたので、これをさらに高めていくために「**学級活動**」を**大事にしてい**くように計画している最中でした。そんな折、2年の学年だより「すてきなあ〜」と思うエピソードが載っていました。



学級会で6年生を送る会に何を発表するのかを決めました。ダンス、けんぱんハーモニカ、折り紙、お手紙などが出され、さあ、多数決、となるかと思いきや「**なんだか気持ちが伝わらない気がするよ**」と反対意見が出され、**「班で話し合い、それを代表の人が持ち寄って話し合って決める」**となりました。この写真は、**班長が集まってどうするか決めているところです。他の人は待っています。**結局「鍵盤ハーモニカとダンス」を発表することになりました。「**みんなでそろえるときれいな音楽になる**」から**鍵盤ハーモニカ**。そして「**見ても楽しいしやっても楽しい**」から**ダンス**となりました。

水曜日に話し合っ、ダンスは「はいよろこんで」に決定しました。鍵盤ハーモニカは間に合うのか！？・・・来週へ続く・・・

いろいろな考え方をするみんなが集まっているのがクラスです。一発で意見がまとまる時ばかりではないものです。そんな時に、「じゃあ、多数決にしよう」と決めるものの、決まったことに本心からは賛成できず、あとでもめ事になるなんてことが珍しくありません。2年1組のみんなは、**お世話になった6年生にありがとうの気持ちを伝えるために**どうしたらいいか、**みんなが納得のいくように結論を出したかった**のでしょう。「民主主義＝多数決」ではないことを肌感覚でつかんでいる子どもたちなんだなと思いました。すごいぞ、2年生！ 「はいよろこんで」と鍵ハの練習、がんばれ〜！